ＤＳＲＦ－３００Ｃゼロ工法

外断熱工法

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**

**５**



平場：ＤＳＲＦ－３００Ｃゼロ工法（断熱仕様　換算膜厚３.０㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | 断熱材 | ― |
| ２ | ランスロックシート | １.０５m |
| ３ | Ｔルーフアンカー　または  ハードエッジドライブＨＤＦ | ２.６個 |
| ＤＦメッシュテープ | ※１ |
| ランスロックキャントＮ＋ＦＪテープ | ※１ |
| ＤＳカラー・ゼロ立上り用 | ０.４㎏ |
| ４ | ＤＳカラー・ゼロ | ２.０㎏ |
| ５ | ＤＳカラー・ゼロ | １.９㎏ |
| ６ | 各種トップコート（高反射色）※３ | ※３ |

立上り：ＤＳＭ－２００ＬＭゼロ工法（密着工法　メッシュ入り　換算膜厚２.０㎜）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | 各種プライマー※２ | ※２ |
| ２ | ＤＳカラー・ゼロ立上り用 | ０.４㎏ |
| ＬＳメッシュ | １.１m |
| ３ | ＤＳカラー・ゼロ立上り用 | １.３㎏ |
| ４ | ＤＳカラー・ゼロ立上り用 | １.３㎏ |
| ５ | 各種トップコート（高反射色）※３ | ※３ |

※１　現場の状況により異なります。

※２　下地の種類によりプライマーの種類と塗布量が異なります。

※３　使用するトップコートは高反射色指定となり、種類により塗布量が異なります。

・使用するプライマー、トップコートは使用材料一覧から現場に適した材料を選定してください。

**使用材料一覧**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| スタイロフォーム | ９１０㎜×９１０㎜／枚 ｔ＝２５㎜・３０㎜・３５㎜・ ４０㎜・５０㎜ | ‐ | ポリスチレンフォーム 断熱材 |
|
|
| ＤＳプライマー・エコ | １６㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂  プライマー（弱溶剤系） |
|
|
| 層間プライマーE | １４㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂  プライマー（弱溶剤系） |
|
|
| オープライマー | １６kg／ペール缶 | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | ２成分形エポキシ樹脂樹脂プライマー（水系） |
| 主　剤　８kg／袋 |
| 硬化剤　８kg／袋 |
| オープライマーバリア | １５㎏／缶 | １成分形 | 2成分形エポキシ樹脂  プライマー（水系） |
|
|
| ＵＳウレタンプライマー | １６㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン樹脂  プライマー（溶剤系） |
|
|
| プライマーＰＷ－Ｆ | １２kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | ２成分形エポキシ樹脂樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６kg／缶 |
| 硬化剤　６kg／缶 |
| 層間プライマーJ | １２kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | ２成分形ウレタン樹脂  プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６kg／缶 |
| 硬化剤　６kg／缶 |
| Ｗ－１ | ２０kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：１ | HGコート用2成分形  エポキシ樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤１０kg／缶 |
| 硬化剤１０kg／缶 |
| ＳＰＬエマルション１００ | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形アクリル樹脂接着剤（水系）  ※仮張り・仮固定用 |
|
|
| ランスロックシート | １ｍ×１５.８ｍ／巻 ｔ＝１.３㎜ | ‐ | 機械的固定工法用  改質アスファルト系  通気緩衝シート |
|
|
| Ｔルーフアンカー | 長さ４０㎜・７０mm ３００本／箱 | ‐ | シルバーヴィック処理  リムド銅・ステンレス製アンカーピン |
|
|
| Ｔルーフスリーブ | ５～４０㎜ ３００本／箱 | ‐ | Ｔルーフアンカー用  アルミ製スリーブ |
|
|
| ハードエッジドライブ ＨＤＦ | ４５～１８０㎜ | ‐ | ランスロックシート  固定用ネジ |
|
|

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| Ｔルーフワッシャー | ３００枚／袋 | ‐ | ハードエッジドライブ  ＨＤＦ用ワッシャー |
|
|
| ＤＦメッシュテープ | １００㎜×５０ｍ／巻 | ‐ | ガラスメッシュテープ |
|
|
| ＦＪテープ＃７０  　　　　　＃１００ | ７０㎜×２０m／巻  １００㎜×２０m／巻 | ‐ | ポリエステル不織布付  ブチルゴムテープ |
|
|
| ランスロックキャントＮ | ２m／本 | ‐ | アルミ製機械固定工法用周囲補強金物 |
| ｔ＝１.３㎜ |
| ３０-４０-３０㎜・ ３０-１００-３０㎜ |
| ２６アルミサスアンカー ４０  ７０ | 長さ２６㎜  ４０㎜ ７０㎜  １００本／箱 | ‐ | アルミ・ステンレス製  補強金物固定用アンカー |
|
|
| ステンレスベントＮ | ２個／箱 | ‐ | ステンレス製脱気筒 |
|
|
| ＤＳカラー・ゼロ | ２７kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：２ | ２成分形ウレタン防水材 |
| 主　剤　９kg／缶 |
| 硬化剤１８kg／缶 |
| ＤＳカラー・ゼロ 立上り用 | １８kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝１：２ | ２成分形ウレタン防水材立上り用 |
| 主　剤　６kg／缶 |
| 硬化剤１２kg／缶 |
| ＬＳメッシュ | １.０４ｍ×１００ｍ／巻 | ‐ | ガラスメッシュ |
|
|

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| ＤＳトップ・ゼロ高反射色 | １５kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート  （弱溶剤系） |
|  | 主　剤　６kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　９kg／缶 |
| ＡＳトップ・ゼロ高反射色 | １５kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形アクリルシリコン樹脂トップコート  （弱溶剤系） |
|  | 主　剤　６kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　９kg／缶 |
| オートップ・ワン高反射色 | １５㎏／缶 | １成分形 | 1成分形アクリルウレタン系トップコート（水系） |
|  |
| 塗布量0.15㎏/㎡×2回塗り |
| ＳＱトップ・ゼロ高反射色 | １５kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート  （弱溶剤系）速乾タイプ |
|  | 主　剤　６kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　９kg／缶 |
| フッ素スーパートップ・ゼロ高反射色 | １０kg／セット | 主剤：硬化剤 ＝２：３ | ２成分形フッ素樹脂  トップコート（弱溶剤系） |
|  | 主　剤　４kg／缶 |
| 塗布量0.2㎏/㎡ | 硬化剤　６kg／缶 |
| ＨＧコート高反射色 | ２０㎏／缶 | １成分形 | 1成分形無機質調アクリルシリコン樹脂トップコート（水系）  厚塗り高耐久保護仕上げ |
|  |
| 塗布量 平場：0.6㎏/㎡×2回塗り 立上り：0.5㎏/㎡×2回塗り |

**施工の流れ**

|  |  |
| --- | --- |
| 平場面：ＤＳＲＦ－３００Ｃゼロ工法 | 立上り面：ＤＳＭ－２００ＬＭゼロ工法 |
|  |  |
| 下地確認・下地清掃 | |
|  |  |
| 断熱板敷き |
|  |  |
| 墨出し |  |
|  |  |
| ランスロックシート張り  シ－トの固定  シ－トジョイント処理 |  |
|  |  |
| ステンレスベントＮ取付け |  |
|  |  |
| ランスロックキャントＮ取付け  ＦＪテープ張付け |  |
|  |  |
|  | 各種プライマー塗布 |
|  |  |
|  | ＤＳカラー・ゼロ立上り用塗布  ＬＳメッシュ張り |
|  |  |
|  | ＤＳカラー・ゼロ立上り用塗布（１層目） |
|  |  |
| ＤＳカラー・ゼロ塗布（１層目） |  |
|  |  |
|  | ＤＳカラー・ゼロ立上り用塗布（２層目） |
|  |  |
| ＤＳカラー・ゼロ塗布（２層目） |  |
|  |  |
| 各種トップコート（高反射色）塗布 | |

**施工要領**

**平場**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | 断熱材敷き |
| 断熱材を隙間無く敷きつめます。立上り部および役物周りは、突付けで断熱材を敷きます。  強風時は、断熱板等が飛ばされないよう注意し、ＳＰＬエマルション１００で断熱材を仮接着します。 |
| ２ | ランスロックシート張り |
| ランスロックシートは、最初の１本目のジョイント部分（幅５０㎜）を切り落とし、切り落とした部分をパラペット側にして墨出し線に合わせて張る。  ２本目からはランスロックシートのジョイント部分を１本目のジョイントラップ線に合わせながら、仮置きを行う。  立上り入隅部及び役物廻り等は、突付けで張る。  仮置き終了後、ランスロックシート長手は、ジョイントラップ部（幅５０㎜）の粘着材部についている離型紙を剥がし接着させる。  ランスロックシート短手は、次のシートが５０㎜ラップするように仮り置きし、接着剤にて接着させる。 |
| ３ | ＴルーフアンカーまたはハードエッジドライブＨＤＦ打ち込み |
| ランスロックシートのジョイント部上に、長手方向４００㎜、短手方向３３０㎜の間隔でジョイント部中央にハンマ－ドリルを用いて、下地面に対して垂直に穿孔しＴルーフスリーブへ通したＴルーフアンカーまたはハードエッジドライブＨＤＦを打ち込み固定を行う。（この時点では、立上り入隅、役物廻りは固定しない。）  下地コンクリートに対しての打込み深さはＴルーフアンカーの場合２４㎜以上、ハードエッジドライブＨＤＦの場合４０㎜以上とる。  尚、既存下地の種類、状況により、Ｔルーフスリーブ・ＴルーフアンカーまたはハードエッジドライブＨＤＦの種類、長さを選択する。  打ち込み後、長手・短手ジョイント部上にＤＦメッシュテープを張り、ハンドロ－ラー等により転圧を行い接着させる。 |
| ４ | ステンレスベントＮ取付け |
| ステンレスベントＮを所定の位置の床部に取付ける。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| ５ | ランスロックキャントＮ取付け |
| ランスロックシート端末部位は、シ－ト上から押え金物であるランスロックキャントＮを仮置きしアルミサスアンカ－にて固定する。  アルミサスアンカ－の打ち込み間隔はランスロックキャントＮの下穴部（３８０㎜間隔、端部からは５０㎜位置）に打ち込み、下地コンクリートに対しての打込み深さは２０㎜以上とる。  ランスロックキャントＮを切断し用いる場合も３８０㎜以内間隔、端部からは５０㎜以内の位置に穿孔しアンカーを必ず打ち込み固定する。  ランスロックキャントＮ同士のつなぎ目は、隙間を夏期１㎜・冬期２㎜開ける。 |
| ６ | ＦＪテープ張付け |
| ランスロックキャントＮ同士のつなぎ目、及びランスロックキャントＮ周囲の段差にＦＪテープを張付ける。このときランスロックキャントＮに打ち込んだアルミサスアンカ－の頭部が、隠れるようにＦＪテープを張付け、よく下地になじませる。  翌日以降に次工程の作業を行う場合は、シートジョイント、Ｔルーフアンカー、ランスロックキャントＮ、ＦＪテープ上にウレタン立上り用０.４㎏／㎡を段差が出ないように塗布し雨仕舞を行う。 |
| ７ | ＤＳカラー・ゼロ塗布（１層目） |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳカラー・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、コテ等の工具を用いて２.０㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ８ | ＤＳカラー・ゼロ塗布（２層目） |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳカラー・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、コテ等の工具を用いて１.９㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ９ | 各種トップコート（高反射色）塗布 |
| 主剤・硬化剤からなる各種トップコート（高反射色）を規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で規定量を均一にムラ無く塗布する。 |
| １０ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

**立上り**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | 各種プライマー塗布 |
| 下地処理確認後、良く清掃し、各種プライマーをローラー等の工具で規定量を均一に塗布する。 |
| ２ | ＬＳメッシュ張り |
| 立上り・各基礎等を、補強布の下塗りとして、主剤・硬化剤からなるＤＳカラー・ゼロ立上り用を規定の配合で混合攪拌し、コテ・ゴムベラ等の工具を用いて０.４㎏／㎡を均一に塗布する。その後、補強布ＬＳメッシュを重ね幅５０㎜以上ラップさせて張付ける。  ランスロックシートとのラップ幅は１００㎜以上重ねる。 |
| ３ | ＤＳカラー・ゼロ立上り用塗布（１層目） |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳカラー・ゼロ立上り用を規定の配合で混合攪拌し、コテ・ゴムベラ等の工具を用いて１.３㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ４ | ＤＳカラー・ゼロ立上り用塗布（２層目） |
| 主剤・硬化剤からなるＤＳカラー・ゼロ立上り用を規定の配合で混合攪拌し、コテ・ゴムベラ等の工具を用いて１.３㎏／㎡を均一に塗布する。 |
| ５ | 各種トップコート（高反射色）塗布 |
| 主剤・硬化剤からなる各種トップコート（高反射色）を規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で規定量を均一にムラ無く塗布する。 |
| ６ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

改訂：２０２５年１１月

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |